



こんにちは

2025年
7.6
No.1100

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです！



総合体育館2048年に建て替え

今建設中の市民文化ホールに続き、今年で52年目となる総合体育館の建て替えが、今課題となっています。その方向性が6月議会の総務委員会で示され、「2048年以降の建設」ととなりました。当初は2028年に建て替える計画だったので、びっくり仰天。修繕しながら使うという計画も示されましたが、無理があります。

建て替えが20年も遅れる理由は、財政問題です。市民文化ホールの建設、市営住宅や学校の建て替えなど、公共施設の建設のための借入金（起債）が増え、その返済額（償還額）が予想をはるかに上回ったことが理由だといえます。償還額が落ち着くのが2048年頃なので、それ以降の建て替えになるとの説明です。

新たな総合体育館の建設には、土地購入費も含め、約131億円を見込んでいます。市民文化ホールについて、岩倉前市長は「100億円以内に抑える」と言ってきましたが、物価高騰による資材の高騰や労務単価の増加などで160億円を超えました。

このことから、総合体育館の建設費も、さらに高くなることが想像できます。

今後も市営住宅や学校の建て替え、老朽化した公共施設の整備も必要です。この現状から「2048年よりもさらに大きく遅れる可能性もあるのでは」と聞くと、「ある」との答弁です。そして、早期に建て替えるには、民間資本の活用や、民間が自ら建設してくれることだと言います。そんなことが可能でしょうか？

もし、民間企業が体育館を建ててくれたとしても、収益が見込める施設になります。「プロスポーツやイベントなどが中心になり、空いた時間に市民に開放する」と市は説明します。イメージとしては、北広島市の「エスコンフィールド北海道」のようなものでしょうか。期待もあると思いますが、「市民のための体育館」とは程遠いように感じます。

建設場所は苦小牧駅前周辺です。交通の利便性も良く、賑わい創出なると思いますが、駅前には市有地はなく、建設地の確保が非常に難しくなります。私は、「総合体育館はつくりません」と言っているに等しいと感じました。

苦小牧市には『スポーツ都市宣言』があり、来年60年目となります。私はその理念を生かし、誰もがスポーツを楽しめるまちを目指したいと思います。